



Rotary



茂原中央ロータリークラブ 会報

世界に希望を生み出そう



会長 杉江敏矢 幹事 居村龍二郎

クラブ創立 1993. 1. 12
 例会日 毎週火曜日/点鐘 12:30
 例会場 茂原卸団地組合会館
 事務局 TEL 0475-26-1515
 FAX 0475-26-1516

Emai lmobarach.rc@gmail.com
<http://mobarachuo-rc.com>

- ★ ゴードン R. マッキナリー RI 会長
- ★ RID2790 鷗沢 和広 ガバナー
- ★ 第7グループ 諏訪 武士 ガバナー補佐



第 32 巻 通巻第 1376 号 第 17・18 号 例会通回 第 1381 回

★クラブ会報委員長 片岡 太 ★副委員長 横堀 喜一郎

本日の例会プログラム

令和 5 年 11 月 14 日

(ロータリー財団月間)

点 鐘 杉江 敏矢 会長
 ソング 奉仕の理想

誕生祝 2名
 (山岸会員・崔蘭亭 さん)

米山奨学金授与 崔 蘭亭 さん

会長挨拶 杉江 敏矢 会長
 幹事報告 居村龍二郎 幹事

委員会報告
 ニコニコ

内部卓話 志田 延子 会員

出席報告 担当委員会

10月24日例会

会長挨拶

杉江 敏矢 会長

皆さん、こんにちは。先日の日曜日に地区大会に参加された方お疲れ様でした。コロナ明けで多く参加者のもと盛大に行われました。今年は他県からの参加者や海外のロータリアンの方も多くおられたという印象でした。来年のガバナー公式訪問の時に今回の自分の感じたことをガバナーにお話したいと思っています。

今日は次々年度のガバナー予定者の時田様がいらっしゃってますので、のち程ご挨拶をしていただこうかと思っておりますのでよろしくお願いたします。

今日はこの時間に表彰報告等をさせていただきます。

こうと思います。

まず地区大会ですが、2022-23 年度で 3 つクラブ表彰をされました。個人表彰はありませんでしたが、第 7 グループの中では多い方なのかと思いました。まず、2022-23 年度ロータリー賞で賞状をいただいております。100%ロータリー財団寄付クラブということで認証バナーもいただいております。

「Every Rotarian, Every Year」クラブということでこちらも認証バナーをいただきました。皆さん、ありがとうございます。これもひとえに皆様のお陰で表彰していただけたと思っています。

続きまして、台風 13 号の被害に会われた会員へのお見舞い金です、西那須野ロータリークラブさんがいの一にお見舞い金を持って来ていただきました。いただいたお見舞い金から実際被害に会われた方にクラブからお見舞い金をお渡ししたいと思います。

(各人に見舞金の贈呈)

このあと、“ロータリーの友勉強会”があります。小沢会員にお願いしておりますので、会長挨拶はこの辺にさせていただきますと思います。ありがとうございます。



地区大会表彰
 (2022-23 年度クラブ表彰)



「Every Rotarian Every Year 100%ロータリー財団寄付クラブ《 認証バナー 》 クラブ《 認証バナー 》

「Every Rotarian, Every Year」クラブ

この表彰を受けるクラブは世界でわずか3,800クラブです。(1ロータリー年度の会員一人あたりの年次基金への平均寄付額が100米ドル以上であり、正会員全員が年次基金に少なくとも25米ドル以上を寄附したクラブ)

100%ロータリー財団寄付クラブ

この表彰を受けるクラブは世界でわずか4,500クラブです。(1ロータリー年度の会員一人あたりの平均寄付額が100米ドル以上であり、会費を払っている全ての会員が、ロータリー年度内にいずれかの寄付先に対して少なくとも25米ドルを寄附したクラブ)



2022-23 年度
ロータリー賞
《 R I 賞状 》

災害お見舞い



台風 13 号により被災された会員の方々に、心よりお見舞い申し上げます。

神明重美会員 小沢恒夫会員
杉田 瞳 会員

幹事報告 居村 龍二郎 幹事

- 地区 (回覧)
- ①RYLA 委員会より、第1回 RYLA 実行委員会会議のご案内
- ②ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会より、風の便り Vol.9_No.3 (通刊108号)
- ③「コーディネーターニュース」2023年11月号
- ④2023-24年度鶴沢和広ガバナー事務所より、地区大会御礼とお詫びについて
- 例会案内 (回覧)
特になし
- 会報受信 (回覧)
特になし
- その他 (回覧)
特になし

第 2790 地区 ガバナーノミニー ご挨拶



時田 清次 様
(市原中央 RC)

皆さん、こんにちは。市原中央ロータリークラブの時田です。よろしくお願いいたします。今日は全てのクラブをメーキャップして回り、学ばせていただくということで来ています。去年の10月ガバナーノミニー・デジグネートになってから、地区の行事には全部出るようにしています。それ以外に、ロータリー細則の中にガバナーの役割というものがあまして、それは「R I 理事会の指揮監督のもと役務を行うR I 役員であり、クラブを啓発し意欲を持たせる。」となっています。重要なのは、クラブを啓発し意欲を持たせるということでクラブを知らなければ、ガバナーの役割を果たせないと思った次第です。茂原中央ロータリークラブには、今年5月の30周年出席したので、いいかなと思っていましたが、やはり全部回ると決めたので遅くなりましたけれども今日になりました。今日はたまたまポリオデーなんで邪魔かなと思ったんですけど、特にやってなかったのが良かったと思っています。横堀さんにはロータリー財団で一生懸命やってもらってまして本当に感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。

ガバナーが来年は寒郡さんで翌年が私になりますが、聞いたところによると、今年は大々喜がガバナー補佐で来年が成田空港南、私の時は茂原中央さんからガバナー補佐が出る

ことになっていますので、決まったらお邪魔してお願いに上がろうと思っていますので、その時にはよろしくお願ひいたします。簡単ですけれども挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

『ロータリーの友』勉強会



プログラム委員会
小沢 恒夫 委員長



皆さん、こんにちは。台風 13 号のお見舞いをいただきましてありがとうございました。今回は自宅の方には浸水が無かったのですが、資材倉庫と仮住まいが床上でした。僕の生まれた地区は、二重橋の近くの早野で、今の会社から歩いてすぐのところ。橋を渡ると急に下がっていて、小さい頃から水害のことを覚えています。父親は大工で、僕が小学校の低学年の時に平屋の家を建てましたが、その年に 3 回の水害があり、全部床上でした。そのことは凄く覚えています。ただ自分の中では水害になると学校が休みになる。そんなことも思い出しました。毎回水害じゃ困るということで、その 3 年後位に家を 1m くらい上げました。それからは水害には会っていないのですが、父親が亡くなって、家のリホーム時に、床を剥がしたら、床の下の柱の上に家が乗ってたっていうような、そんな怖いところに住んでいたんです。4 年前の水害の時には自宅の方まで浸水になりました。今年の水害では床から 40 cm 位のところで水が引き始めたので自宅までは大丈夫でした。

それでは、“ロータリーの友勉強会”について、片岡さんのご指名だったのでやらせていただきます。ロータリーの友 10 月号で、6 ページに「ロータリーとは」というところです。

ロータリーの誕生とその成長

20 世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人 3 人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合い

がそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。こうして 1905 年 2 月 23 日にシカゴロータリークラブが誕生しました。それからは、志を同じくするロータリークラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では 200 以上の国と地域に広がり、クラブ数 36,926、会員総数 1,172,284 人（2023 年 8 月 14 日国際ロータリー公式発表）に達しています。このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。なお、世界中のロータリークラブとローターアクトクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正 9）年 10 月 20 日に創立された東京ロータリークラブで、翌 1921 年 4 月 1 日に、世界で 855 番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第 2 次世界大戦の波に洗われて、1940 年に国際ロータリーから脱退します。戦後 1949 年 3 月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第 3 代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は 2,206、会員数 83,600 人（2023 年 7 月末現在）となっています。

これがロータリーの誕生とその成長ということになります。

そして「ロータリーの目的」を改めて見てみますと。

- 第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会

に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なるものにする。

第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること。

こうやって考えると、茂原中央ロータリークラブは凄く輪があるクラブだと思いますが、もっともっと視野を広げて日本と限らず世界に向けて、いろんなロータリークラブとの友好が必要になって来るんだなと改めて感じました。

次に 10 ページ

「誰もがいつだって RE スタートできる」というところです。

私は、児童養護施設出身者です。被虐待児であり、無国籍、無戸籍だった自身の経験を通して、日本で現実起こっている課題を伝える活動をしています。

ライターでお尻をあぶられた子ども時代 既婚者だった実の父親は、フィリピン人の母親から生まれた私を認知しませんでした。無国籍、無戸籍のまま、11歳で児童養護施設に保護されるまで、義父からあらゆる虐待で命を脅かされ、死を覚悟するような日々を過ごしていました。ライターで耳やお尻をあぶられ、やけどの痛みでうまく座れずにいた私の様子に違和感を持った担任の先生が虐待を発見。保護されてから約 20 年がたった現在、私は 31 歳になりました。

想像できますか？心身が傷ついた若者が一人で社会で歩いていくこと。子ども時代に「子ども」としての時間を奪われ、心身が傷ついた若者が、社会人として一人で生活することは容易なことではありません。明日を生きることを選ばない若者もいます。一方で、傷を抱えながらも、強く生きようとする子もいます。日々、さまざまなことで葛藤を抱え、一つ一つの出来事に揺れ動きながら少しずつ前に進んでいく姿を見守り続けます。同じ日本に生きているのに、社会のしわ寄せが若者や子どもなど弱い者たちに向かっている課題を、どうにかしなければなりません。貧困をはじめ若者のさまざまな課題を「自己責任」の一言で片付けるのは悲しすぎます。ロータリークラブの皆さんには生きづらさを抱える若者たちに思いをはせ、関心を持っていただきたいです。願わくは近くにいる大人を通じ、一人でも多くの子どもや若者の命が繋がれていくことを祈っています。

この方は、コンパスナビ事務局長というその

会社を作って、子ども達を貧困から救うような活動をしているという記事でした。



“ロータリーの友”を改めて見てみると、ロータリーって奉仕の精神の中で日本のみならず世界各国で貧困に対していろんな支援を考えているんだなっていうふうに改めて感じました。そうやって考えると、まだうちのクラブもやるのが沢山あって、自分達のクラブだけじゃなくて、いろいろ視野を広げていく、そういうチャンスや機会がこの“ロータリーの友”の中に詰まっているというふうにも凄く感じました。

最後に 41 ページには、旭川ロータリークラブの市民と一緒に駅前ベンチのペンキ塗り社会奉仕活動の一環として、JR 旭川駅前のベンチのペンキ塗りを実施。両クラブの会員の他 SNS やチラシでの告知に応募のあった 16 組の家族など、総勢 30 人以上が参加しました。参加家族がペンキ塗りを楽しめるよう、会員たちは早朝から計 8 基のベンチの回りに、周囲を汚さず作業ができるようブルーシートを敷き、脚部の補修や、古い塗装を剥がすためにサンドペーパーをかけるなど事前に準備をしました。その後、昼過ぎに参加者が集合。塗料メーカーのスタッフから、ペンキの塗り方、刷毛の使い方を指導してもらったうえで作業を始めました。当日は快晴で気温が 32 度まで上昇。熱中症予防に水分補給をしながらの作業になりました。ペンキの色は、旭川市が都市環境の統一を目的に発行する『カラーガイド・旭川』を参考に、旭川カラーの一つ「オリーブブラウン」を採用。参加者には、景観と色使いへの関心を持ってもらおうと心掛けました。ペンキ塗りが初めての子どもたちも、次第に刷毛の使い方がうまくなり、気分はまるでペンキ塗り職人のよう。この体験を通じ、旭川への愛着を育ててくれればと願っています。



これを見た時に、うちのロータリアンには職人さんが多いので自分達の職業を通して奉仕ができることがたくさんあると思うんです。このような内容もみんなで考えていきたいと思えます。社会奉仕活動に目を向けてと改めてそう思いました。
皆さん、ご清聴ありがとうございました。



ニコニコ

時田 清次 ガバナーノミニー ... クラブを廻り学ばせていただいています。今後ともよろしくお願ひいたします。
青柳 征三 会員(茂原 RC) ... 家屋の解体整備で小沢会員、林会員、居村会員の他、皆さんにお世話になっており感謝申し上げます。

ビジター

時田 清次 ガバナーノミニー
(市原中央 RC)
青柳 征三 会員 (茂原 RC)

出席報告

例会日	会員	出席	MU	欠席	免除	出席率%
10/24	26	14	8	3	1	88.00
10/10	26	14	4	5	3	78.26

11月 行事予定	
11/07(火)	情報研修会 13時点鐘 ヴィラそとぼう
11/14(火)	理事会 11時30分・移動例会「竹りん」 誕生祝2名(山岸会員・崔蘭亭さん) 内部卓話:志田延子会員
11/21(火)	通常例会(卸商業団地会館協同組合) ロータリーの友勉強会
11/28(火)	理事会 11時30分(ロータリークラブ事務所) 通常例会(卸商業団地会館協同組合) 外部卓話:MY ROTARY 登録推進委員会 委員長 池田勝之 様(千葉 RC)

児童図書贈呈式 11月6日(月)



長南町:長南中学校図書室



2023-2024 年度

第 2790 地区 第 7 グループ

大多喜町：大多喜小学校



贈呈図書の一部です

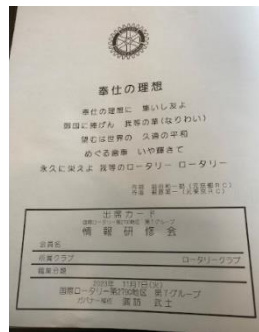


大多喜町：西小学校



贈呈図書の一部です

ロータリー情報研修会 11月7日(火)
九十九里ヴィラそとぼう



参加された皆様、お疲れ様でした。